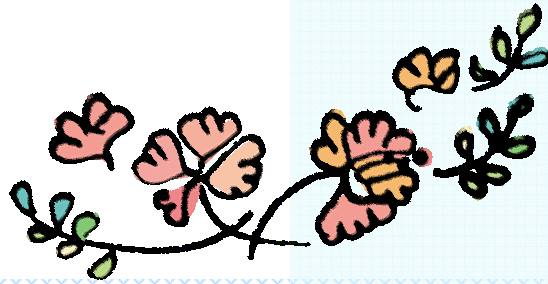


# 20代企画

臨床検査技師が取得可能な資格



～ 紹介集 ～

第47回東北医学検査学会

## 20代企画：行列の出来る検査技師資格相談所

相談所開設にあたって

チーム医療という言葉が定着し、検査室を飛び出しての活動も増えつつある近年、臨床検査技師も医療技術者として、よりグローバルな知識が必要とされてきています。しかし一方、医療の質を保障しより良い医療を提供していくために、より専門的な知識が必要とされることも多くなっています。今後、どのようにして私たち臨床検査技師が生き残っていくのかということを考えたとき、臨床側のニーズにあった資格取得もまたそのひとつの方法と思われます。

今回我々は、県内のすべての施設にアンケートを実施、アンケートに上げられた資格の中で、臨床検査技師が取得可能な資格について、その資格の取得方法や取得のノウハウなどについて調査し、この小冊子にまとめました。これらの資格に少しでも興味を持っていただき、これからの皆様の資格取得のお役に立てていただければと思います。

20代企画実務委員： 浅黄 優（広南病院）

大井 千春（みやぎ県南中核病院）

大友 恵利子（スズキ記念病院）

小野 祐子（広南病院）

大和田 千種（宮城社会保険病院）

鶏徳 大祐（大泉記念病院）

鈴木 倫子（宮城社会保険病院）

平 真理子（仙台厚生病院）

野村 幸宏（仙台社会保険病院）

藤原 恵子（仙台市立病院）

三浦 敦子（東北大学病院）

## 目次

1. 一級臨床検査士
2. 二級臨床検査士
3. 緊急臨床検査士
4. 認定輸血検査技師
5. 認定臨床微生物検査技師
6. 認定血液検査技師
7. 細胞検査士
8. 超音波検査士
9. 健康食品管理士 (Functional Food Consultant:FFC)
10. 日本糖尿病療養指導士(CDEJ : Certified Diabetes Educator of Japan)
11. CRC (治験コーディネーター)
12. 臨床細胞遺伝学認定士
13. 診療情報管理士
14. 不妊カウンセラ-・体外受精コ-ディネ-タ-
15. 認定臨床エンブリオロジスト
16. 第1種ME 技術実力検定試験
17. 第2種ME 技術実力検定試験
18. 臨床ME 専門認定士
19. 医療情報技師
20. 第一種・第二種消化器内視鏡技師
21. 染色体分析技術認定士
22. 磁気共鳴 (MR)専門技術者
23. 平衡機能検査技術講習会
24. 聴力測定技術講習会
25. ICD(infection control doctor : 感染制御ドクター)
26. 血管診療技師 CLINICAL VASCULAR TECHNOLOGIST (CVT)

# 1. 一級臨床検査士

主催学会	日本臨床検査同学院
ホームページ	<a href="http://square.umin.ac.jp/ccpj/nra/aka021.html">http://square.umin.ac.jp/ccpj/nra/aka021.html</a>
学会費	7000 円
試験の方針	一級臨床検査士とは、医療に占める臨床検査の意義を理解し、検査技術に熟達するのみならず、検査技術の理論を理解するとともに、新しい検査法を正しく採り入れる能力を有する者である。また協調性を持ち、検査室にあっては指導的技術者として日常検査業務の管理をする能力を有する者である。以下を重視した試験を行う。1) 検査技術の練達度と理論の理解度、2) 新しい検査法を採り入れる能力、3) 検査技術の指導、4) 日常業務の管理、5) 英文和訳、6) 社会人としての人間性
受験資格	臨床検査技師資格取得後 5 年以上の業務歴があり、二級臨床検査士資格認定試験当該科目に合格後 3 年の実務歴があり、検査室の指導的技術者として適当な人物であることを所属長が証明したものの。
種別	微生物学、寄生虫学、病理学、臨床化学、血液学、免疫血清学、循環・神経生理学、呼吸生理学
受験様式	1) 第 1 次筆記試験・・・当該科目の学術および一般常識、共通・専門英語 1 時間（英文出題基準あり）、専門筆記問題 2 時間 2) 第 2 次実地試験・・・第 1 次試験に合格した者のみに行う。各科目ごとの単位制とし、全単位が成績優秀な者を合格とする。不合格の単位は次回再試験を受けることができる。この場合、合格単位の有効期限は 2 年とする。 詳細はホームページ参照 <a href="http://square.umin.ac.jp/ccpj/nra/1hani18.pdf">http://square.umin.ac.jp/ccpj/nra/1hani18.pdf</a>
受験料	20000 円（第 1 次筆記試験）、30000 円（第 2 次実地試験）
英文試験	指導者として、更に国際的な情報を広く理解するために英語が不可欠である。英和辞書の持ち込みは可。 1) 共通問題・・・高卒程度の文章を出題する。 2) 専門問題・・・参考として一般病院でも入手できる、各分野で専門誌 3～4 誌を公表する。（専門用語は脚注に示す）

## 2. 二級臨床検査士

主催学会	日本臨床検査同学院
ホームページ	<a href="http://square.umin.ac.jp/ccpj/nra/aka021.html">http://square.umin.ac.jp/ccpj/nra/aka021.html</a>
学会費	7000 円
受験資格	臨床検査技師の資格を有するもの
目的	日本臨床検査医学会の責任と標準において、臨床検査士の学識技術を認定することを目的とする。
定義	臨床病理検査室において医師の指導のもとに微生物学、寄生虫学、病理学、臨床化学、血液学、免疫血清学、および生理学の諸検査の業務を正しく行い得ることを日本臨床検査医学会、日本臨床検査同学院が認定した者をいう。
種別	微生物学（寄生虫学を含む）、病理学、臨床化学、血液学、免疫血清学、循環生理学、神経生理学、呼吸生理学
受験様式	筆記試験および実技試験 いずれの科目を受験する場合も「各科目に必要な基礎知識及び技術」が含まれる 詳細はホームページ参照 <a href="http://square.umin.ac.jp/ccpj/nra/2nd_hani18.pdf">http://square.umin.ac.jp/ccpj/nra/2nd_hani18.pdf</a>
受験料	22000 円
書籍案内	メディカルテクノロジーに掲載される過去問題 臨床検査技師国家試験問題集

### 3. 緊急臨床検査士

定義	医師の監督指導のもとに緊急臨床検査の業務を正しく行いうることを本学会が認定したもの
主催学会	日本臨床検査同学院/日本臨床検査医学会
ホームページ	日本臨床検査同学院 <a href="http://square.umin.ac.jp/ccpj/nra/aka021.html">http://square.umin.ac.jp/ccpj/nra/aka021.html</a>
学会費	年 7,000 円(日本臨床検査同学院) /12,000 円(日本臨床検査医学会)
受験資格	臨床検査技師国家試験に合格し，既に登録を終えて，臨床検査技師の資格を有する者
受験様式	筆記および実地試験
試験範囲	緊急検査を実施するために必要な基本的知識と手技(検査に用いる機器，試薬，検査キットなどの取扱い方)，検体検査(尿・髄液・血液・血清など)については採取法，保存法，消毒法，感染防止，精度管理などの一般常識。  詳細はホームページ参照 <a href="http://square.umin.ac.jp/ccpj/nra/stat_hani18.htm">http://square.umin.ac.jp/ccpj/nra/stat_hani18.htm</a>
受験料	22,000 円
資格更新	無
合格率	75%前後
メリットは?	夜間及び休日における緊急検査は，迅速に多くの分野の検査を一人で行う必要があり，検査手技はもとより機器や試薬の管理操作，また緊急時における検査値の変動などに関する幅広い知識の習得度が必要である。  緊急臨床検査士の資格を得れば，自信を持って緊急検査を行うことができるようになる。
関連学会	日本臨床検査医学会 <a href="http://www.jscp.org/">http://www.jscp.org/</a>
書籍案内	日本臨床検査同学院発行刊行物 「通信」 『検査と技術』に過去問題 掲載 臨床検査 2003 年 01 月発行 (Vol.47 No.1)

## 4. 認定輸血検査技師

主催学会	日本輸血学会
ホームページ	<a href="http://www.yuketsu.gr.jp/">http://www.yuketsu.gr.jp/</a>
学会費	10000 円
目的	<p>輸血は種々の副作用・合併症を伴い易く、輸血治療を行うには深い知識、的確な判断力と技術が要求される。</p> <p>認定輸血検査技師制度は輸血に関する正しい知識と的確な輸血検査により、輸血の安全性の向上に寄与することのできる技師の育成を目的として導入された。</p>
受験資格	<p>1) 臨床検査技師とする。</p> <p>2) 申請時において、原則として現在及び通算して3年以上日本輸血学会または日本臨床衛生検査技師会または日本臨床検査医学会会員であること。ただし、認定時には輸血学会会員であること。</p> <p>3) 申請時で技師免許取得後、輸血検査歴3年、他の検査歴も含めて満5年以上の検査業務経験を必要とする。</p> <p>4) 学術論文、学会発表等の業績発表や輸血に関連した各種学会、講演会及び研修会での活動により、認定輸血検査技師申請の資格審査基準(5年間で50単位以上取得していなければならない)に達していること。</p>
受験様式	<p>1) 筆答試験・・・認定輸血検査技師制度協議会カリキュラム委員会指定の内容(日本輸血学会ホームページ参照)</p> <p>2) 実技試験・・・血液型判定(ABO、Rh)、赤血球抗体解離同定(用手法によるクームス法を含む)、カラム凝集法を予定。実技試験は結果の正解と共に実技の确实さや熟練度も評価の対象とする。</p>
受験料等	申請料(15000円)、研修料(20000円)、試験料(8000円)、登録料(20000円)
書籍案内	1)スタンダード輸血検査テキスト(認定輸血検査技師制度協議会カリキュラム委員会) 医師薬出版

	<p>2) 輸血検査の実際 (改定第3版) 日本検査技師会</p> <p>3) 輸血療法の実施に関する指針 厚生労働省医薬食品局血液対策課</p>
	<p>4) 血液製剤の使用指針 厚生労働省医薬食品局血液対策課</p>
<p>研修会 (必須)</p>	<p>受験有資格者には研修会について連絡される</p> <p>1) 3日間の指定施設研修 (病院2日、血液センター1日)</p> <p>2) 2日間の合同研修会</p>



## 5. 認定臨床微生物検査技師

定義	有能な認定臨床微生物検査技師の養成を図る
主催学会	認定臨床微生物検査技師制度協議会/日本臨床微生物学会
ホームページ	<a href="http://www.jscm.org/seido/kisoku.html">http://www.jscm.org/seido/kisoku.html</a>
学会費	年 5,000 円(正会員)/年 7,000 円(団体会員)
受験資格	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床検査技師国家試験に合格し、既に登録を終えて、臨床検査技師の資格を有する者</li> <li>2. 臨床微生物学検査に関する基本的な技術を有すること</li> <li>3. 認定研修施設において研修を5年以上行っていること</li> <li>4. 臨床微生物学に関する学会発表や、論文発表が指定数あること</li> </ol> <p>*以上の各項目を全て満たしていること</p>
受験様式	筆記および実技試験
試験範囲	臨床微生物学総論(検体の採取・輸送・保存、塗抹・鏡検等)、病院感染防止対策における臨床微生物検査、臨床微生物学の診断技術、細菌学、クラミジア、リケッチャ、抗菌薬と薬剤感受性検査、真菌学、ウイルス学、寄生虫学、等の知識を問う
受験料	35,000 円(申請・講習・受験料)、20,000 円(合格後の認定料)
資格更新	5 年毎
どんな資格?	近年、様々な感染症が大きな問題となっており、医療における微生物検査の重要性が高まっている。これに対応して次々に開発される最新の技術を含めた微生物検査を的確に行い、その健全な発展普及を促すための専門技師制度として、日本微生物学会等が本格的な導入の準備を進めている。微生物の検出・診断のみならず、抗菌薬選定、感染防止対策等においても大きな役割を果たすことが期待されている。
書籍案内	<p>臨床検査 Yearbook2006</p> <p>臨床微生物学(感染症学)に関する基礎知識</p> <p>～ 認定臨床微生物検査技師への道しるべ～</p> <p>編集：小池 和彦 他      編集協力：国公立大学病院臨床検査技術者研修連絡協議会</p>

## 6. 認定血液検査技師

主催学会	認定血液検査技師制度協議会（日本検査血液学会）
目的	血液検査分野における高度の学識と技術を有する検査技師の育成を図り、より良質な医療を国民に提供する。
ホームページ	<a href="http://www.jslh.com/">http://www.jslh.com/</a>
学会費	年 5,000 円
受験資格	<p>1)臨床検査技師であること</p> <p>2)申請時に3年以上日本検査血液学会、日本臨床衛生検査技師会、日本臨床検査医学会、日本血液学会、日本臨床血液学会、日本血栓止血学会のいずれかの会員であること。</p> <p>3)血液検査歴3年以上、他の検査歴も含めて通算5年以上の検査業務経験を有していること。</p> <p>4)最近5年間に、資格審査基準に必要な50単位を取得していること。 （学術論文、学会発表等の業績発表、血液検査に関連した各種学会、講演会、研修会での活動等により取得）</p> <p>5)最近5年間に、日本検査血液学会学術集会または日本検査血液学会が主催する冬季セミナーに1回以上参加していること。</p> <p>以上1)～5)全てを満たしていなければならない。</p>
受験様式	筆記試験、実技試験、口頭試問
受験料	初受験者 30,000 円、再受験者（指定研修会参加者）20,000 円、再受験者（指定研修会不参加者）10,000 円 認定料 10,000 円
資格更新	5 年毎
書籍案内	スタンダード検査血液学 日本検査血液学会（編） 医歯薬出版

## 7. 細胞検査士

定義	指導医の監督指導のもと細胞診スクリーニングの業務を正しく行うことを本学会が認めたもの
主催学会	日本臨床細胞学会
ホームページ	<a href="http://www.jccc.gr.jp">http://www.jccc.gr.jp</a>
学会費	9000 円/年
受験資格	臨床検査技師または衛生検査技師 (検査実務経験、細胞検査士養成所卒、等の要件あり)
受験様式	筆記および実技試験
試験内容	一次試験：筆記試験およびスライド投影による細胞像判定試験 二次試験：実技試験 顕微鏡によるスクリーニング、細胞同定試験、 標本作製実技試験(塗抹固定)
受験料	31500 円
合格率	約 50%
資格更新	有[4 年]
どんな資格?	皆さんが知っている『がん』という病気は細胞の病気である。正常な細胞の中から、『がん細胞』を探し出すのが、細胞検査士(CT)の仕事。細胞をスライドガラスに塗りつけて、色々な方法で染めるとこれらの細胞を見分けることができる。このようにして、良性細胞か悪性細胞か見分けたり、良性細胞の中から少数の悪性細胞を見つけ出す検査のことを細胞診という。細胞診をする検査技師が細胞検査士である。
関連学会	日本臨床検査医学会 <a href="http://www.jscp.org/">http://www.jscp.org/</a>

## 8. 超音波検査士

主催学会	社団法人日本超音波医学会
ホームページ	<a href="http://www.jsum.or.jp/">http://www.jsum.or.jp/</a>
学会費	15,000 円
受験資格	1)日本国の看護師、准看護師、臨床検査技師、診療放射線技師のいずれかの免許を有すること。 2) 3 年以上継続して本学会の正会員もしくは準会員、または日本超音波検査学会の会員であること。 3) 本学会認定超音波専門医の推薦が得られること。
受験様式	領域別の筆記試験（臨床領域及び医用超音波の基礎）
受験料	20,000 円
書籍案内	1)超音波検査士認定試験問題集（第2版） 医歯薬出版 2) 新超音波医学（全4巻） 医学書院 3) 超音波検査士研修ガイドライン 日本超音波医学会事務局
対象領域	体表臓器・循環器・消化器・泌尿器・産婦人科・健診
症例抄録の提出	今年度より、個人情報保護法の施行に伴い、現行の「150 症例の提出」は廃止する事となり、画像付きの症例抄録の提出数が 10 症例から 20 症例に増加された。
資格更新	5 年ごと（5 年間に 25 単位以上取得していること）
関連学会	日本超音波検査学会（ <a href="http://www.jss.org/">http://www.jss.org/</a> ）
メリット	再就職などをする場合、たびたび必要条件に超音波検査士と有る事が多く、取得していると就職にも有利である

## 9. 健康食品管理士

( F u n c t i o n a l Food Consultant:FFC)

この資格について	今日、様々な健康食品が医薬品以上に有効であるかのように宣伝され、消費者には医薬品との区別をつけるのが難しくなっている。そこで消費者に対し、本当に効果があるか、安全性に問題はないか、医薬品との関係が理解できるか、本当に必要な人が摂取しているかなどについて説明し、その被害から守る事を目的とした資格。
主催学会	健康食品管理士認定協会
ホームページ	<a href="http://www.ffcci.jp">http://www.ffcci.jp</a>
学会費	指定研修料 20,000円
受験資格	1)薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士、栄養士(学士のみ)、医師、獣医師の何れかの国家資格を有し、指定研修会を受講した方。 2)理系等で生命科学系の学部卒業、大学院終了者で書類審査を受け、指定研修会を受講した方。 3)当協会が認めた認定校で指定教育カリキュラムすべてを履修した方。
試験項目	生体と物質動体学 健康食品総論 保険機能食品 医薬品と健康食品 疾患と健康食品 臨床検査学 関係法規
受験様式	筆記試験
受験料	15,000円 認定登録料 20,000円
資格更新制度	ネットまたは通信教育のどちらかで厳しい生涯教育を行い、その教育を受けた人のみ5年毎に更新。
求められる能力	健康食品などの分類ができ、適正投与に関して安全性も含めて有用性を判断できる。 健康食品の過剰摂取が引き起こす障害など問題点の認識ができる。 医薬品と健康食品の相違についての認識ができる。 医薬品による治療に対して健康食品の使用のあり方を判断できる。

<p>求められる能力</p>	<p>健康食品など生体になんらかの作用のある食品と医薬品との相互作用の判断ができる。</p> <p>食品及び食品添加物の安全性に関する認識ができる。</p> <p>健康状態の情報としての臨床検査に関する知識を有しその利用ができる。</p> <p>健康状態に応じた食品及び健康食品などの適切な利用法が判断できる。</p> <p>薬事法、健康増進法、食品衛生法、J A S 法の理解ができる。</p> <p>消費者保護の観点で健康食品に関する相談に応ずることができる。</p>
<p>活躍分野</p>	<p>保健・医療分野、N S T : Nutrition Support Team = 栄養サポートチームメンバー、健康食品に関するコンサルタント、健康食品の研究・開発、健康食品に関する治験情報の収集など</p>
<p>書籍案内</p>	<p>1)健康食品学総論                      健康食品管理士認定協会</p>

## 10. 日本糖尿病療養指導士 (CDEJ : Certified Diabetes Educator of Japan)

目的	糖尿病の適正な療養指導を発展普及させるため糖尿病療養指導士を育成し、関係法令のもとで糖尿病患者の健康および福祉の向上に貢献する
主催学会	日本糖尿病療養指導士認定機構
ホームページ	<a href="http://www.cdej.gr.jp/">http://www.cdej.gr.jp/</a>
学会費	無
受験資格	<p>1) 看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士のいずれかの資格を有していること</p> <p>2) 下記の条件を全て満たした医療施設において、現在又は過去 10 年以内に 2 年以上継続して糖尿病患者の療養指導業務に従事した者で、かつこの間に通算 1000 時間以上糖尿病患者の療養指導を行ったこと</p> <p style="padding-left: 40px;">(1) 当該施設に勤務する、以下の(イ)、(ロ)のいずれかに該当する医師が、糖尿病療養指導にあたり受験者を指導していること</p> <p style="padding-left: 80px;">(イ)常勤又は非常勤の日本糖尿病学会専門医 (非常勤の場合、勤務は月 1 回以上)</p> <p style="padding-left: 80px;">(ロ)日本糖尿病学会の会員で糖尿病の診療と療養指導に従事している常勤の医師</p> <p style="padding-left: 40px;">(2) 外来で糖尿病患者の診療が恒常的に行われること</p> <p style="padding-left: 40px;">(3) 糖尿病の患者教育、食事指導が恒常的に行われていること</p> <p>3) 受験者が(2)の「糖尿病療養指導業務に従事した期間」に携わった糖尿病療養指導の自験例が 10 例以上あること</p> <p>4) 本機構が開催する講習会を受講し、受講修了証を取得していること</p>

	* 1) から 4) の全項目を満たしていることが必要。尚、これらの受験資格は今年度の認定試験（第 7 回認定試験）のみ有効。次回以降変更する場合有り。また、上記の条件の更なる詳細はホームページ参照のこと
受験日程	年 1 回 毎年 3 月に実施
受験様式	受験資格審査（書類審査） 客観試験（筆記試験；マークシート方式）
受験料	20,000 円
判定基準	糖尿病療養指導自験例の記録（書類審査）と客観試験の成績（筆記試験）による総合評価
資格更新	5 年毎
雇用形態	不問
業務内容	1) 継続自己管理の意識づけ 2) 自己血糖測定 (self-monitoring of blood glucose : SMBG) 3) 療養指導の計画作り及びその評価
メリット	糖尿病療養指導を軸としてチーム医療に貢献することで、検査室の存在意義を高める
書籍案内	「日本糖尿病療養士受験ガイドブック 2005-2006」- 糖尿病療養士の学習目標と課題 - : 日本糖尿病療養指導士認定機構 編 「糖尿病検査のすべて」- スクリーニングから合併症の検査まで - : Medical Technology 2002 Vol.30 No.13
申し込み及び問い合わせ先	日本糖尿病療養指導士認定機構 受験係 〒113-0033 東京都文京区本郷 2-30-7 本郷 T & S ビル 3 階 TEL : 03-3815-1481 FAX : 03-3815-1487



## 11. CRC（治験コーディネーター）

目的	社会一般の人々がより有効でかつ安全な薬物治療の恩恵が受けられるために、臨床試験が適正かつ円滑に実施されるのに貢献できる人材を養成し認定すること
主催学会	日本臨床薬理学会
ホームページ	<a href="http://www.jscpt.jp/">http://www.jscpt.jp/</a>
学会費	年 10,000 円
対象	臨床検査技師，薬剤師，看護師
受験資格	<p>1) 専任 CRC として 2 年以上（またはそれと同等）の実務経験を有すること</p> <p>2) CRC として経験した一定の基準を満たす業務内容を、定められた受験申請書に記載し、その内容を所属長または参加した治験チームの治験責任医師が証明できること</p> <p>3) 学会の年会、学会の指定する CRC 養成研修会、CRC と臨床試験のあり方を考える会議等への参加実績を有していること</p> <p>4) 所属長または参加した治験チームの治験責任医師の推薦状を提出できること</p> <p>詳細はホームページ参照  <a href="http://www.jscpt.jp/nintei/index_crc.html">http://www.jscpt.jp/nintei/index_crc.html</a></p>
受験様式	筆記試験と面接試験、筆記試験は多肢選択形式（multiple choice question）と論文形式の問題からなる
受験料	20,000 円
資格更新	5 年毎
業務内容	<p>被験者の保護 治験実施体制整備と協力</p> <p>1) 被験者のケア  同意取得の補助説明，患者の相談窓口，服薬指導，来院スケジュールの確認，検査の説明</p> <p>2) 治験担当医師の支援  治験実施の申請手続き，被験者のリクルートおよびスクリーニング，検査スケジュールの管理および手配</p>

業務内容	<p>症例報告書の作成補助，モニタリング・監査の対応，記録の保存</p> <p>3 ) 関連部署との調整 薬剤部，看護部，検査部門のスタッフへの説明と業務分担の徹底</p> <p>4 ) 治験依頼者(製薬会社・CRO)との対応</p>
何が必要？	コミュニケーション能力と医学的知識
CRC の今後	<p>臨床経験のある薬剤師（薬剤知識が豊富），看護師（コミュニケーション能力）を中心としての採用が盛んに行われてきたが，最近では検査データについての正確性が求められ，臨床検査技師を求める声が大きくなってきている。</p> <p>CRC としてチーム医療に参画することは，業務の拡大のみならず，検査室の向上や信頼維持に努めることでもある。</p>
書籍案内	<p>「CRC テキストブック：日本臨床薬理学会認定 CRC のための研修ガイドライン準拠」日本臨床薬理学会編、医学書院，(2002) .</p> <p>安原 一他：CRC 養成講座シリーズ/1：CRC の研修と認定．臨床薬理，34(1)，25-31（2003）．</p> <p>医学検査 Vol.50 No.4 （日本臨床衛生検査技師会，2001）など</p>

## 12. 臨床細胞遺伝学認定士

この資格について	染色体検査は診断に直結することが多いため、高度な技術を駆使し、診療に必要な正確な情報を的確に依頼者に伝えなくてはならない。その役割を担うのが臨床遺伝学認定士である。今後、出生前診断が健全に発展していくためには、この役割は大きいと考えられる。
主催学会	日本人類遺伝学会
ホームページ	<a href="http://jshg.jp/">http://jshg.jp/</a>
学会費	13,000円
受験資格	1) 医師、医師以外の研究者、技術者 2) 日本人類遺伝学会会員 3) 指定研修施設で2年以上、100例以上の染色体検査経験者 4) 指導士2名による推薦 5) 研修単位以上の取得者
受験様式	筆記試験 口頭試験
資格更新制度	5年毎
資格に関する問い合わせ先	臨床細胞遺伝学認定士制度委員会事務局 兵庫医科大学遺伝学教室 〒663 西富市武庫川 11 TEL : 0798 - 45 - 6587 , FAX : 0798-40 - 7639
書籍案内	『次世代への伝達可能なヒト遺伝的修飾に関するアメリカ科学振興協会報告書』 『遺伝学的検査に関するガイドライン』 『遺伝子学と地域医療』 など、ホームページにてダウンロード可

## 13. 診療情報管理士

定義	診療録を高い精度で機能させ、活用するための管理
主催学会	日本病院会
ホームページ	<a href="http://www.hospital.or.jp/">http://www.hospital.or.jp/</a>
会費	基本会費と病床数別会費の合計額とする
受験資格	指定認定校にての単位取得者、通信教育を受講した者
試験	通信教育(2年)後、認定試験
資格更新	無
どんな資格?	診療情報の内容検査を行い、制度の高い情報管理を行うとともに、その情報に基づき高機能なデータベースの構築とデータの管理活用を担う。今後は、診療情報提供やD P C 導入の流れを受けて、業務範囲の拡大、特に監査業務への期待が大きい。
関連学会	日本診療録管理学会[学会費：5000 円/年]

## 14. 不妊カウンセラー・体外受精コーディネーター

この資格について	<p>体外受精コーディネーター・・・体外受精や顕微受精のような卵子や精子、あるいは受精卵を直接取り扱う治療法（補助生殖医療、Assisted Reproductive Technology の略で ART アートと呼ばれます）は、大変複雑でカップルにも大きなストレスになります。この ART について、カップルの立場から治療をアレンジしたり、それぞれのカップルが持つ問題の解決を図ったり、カップルや関係するさまざまな職種の調整を行う。</p> <p>不妊カウンセラー・・・不妊に悩む方に対し、適切な治療とその問題点、治療の見通しなどに関する正確な情報を提供する。</p> <p>不妊に伴う心身の精神的苦痛やストレスに対しサポートをし、自らの意思で行動、判断、意思決定できよう、支援、サポートを行う。</p>
学会費	7,000円      ネット会員 5,000円
受験資格	<p>1) 下記の到達目標（*）に到達していること</p> <p>2) 不妊カウンセラー・体外受精コーディネーター養成講座を3回以上受講していること</p>
受験様式	筆記試験と面接試験
受験料	認定費用 15,000円
資格更新制度	5年毎に行う。更新時点まで3年以上日本不妊カウンセリング学会会員であり、学会出席などにより、点数を合計30点以上取得していること。
（*）到達目標	<p>生殖医療に関する基礎的知識を有している</p> <p>根拠に基づく不妊治療の基礎知識を有している</p> <p>不妊患者の心理・社会的問題を理解している</p> <p>不妊カップルの自立的決定を促すことができる</p> <p>Patient Centered Care(患者中心)の考えを理解し応用できる</p> <p>情報の適切な伝え方を知っており、それを応用できる</p> <p>ARTのステップ、問題点、成績などについて理解しており、患者とさまざまな医療職種間をコーディネートできる（体外受精コーディネーター）</p> <p>カウンセリングに関する基礎的知識を有しており、それを応用できる（不妊カウンセラー）</p>
書籍案内	不妊治療ガイドンス（著者 荒木重雄 浜崎京子）医学書院

## 15. 認定臨床エンブリオロジスト

この資格について	エンブリオロジストの仕事は、精液検査、良好精子収集、医師が採取した卵胞液から卵子収集と培養、媒精(シャーレ内で精子と卵子を混合培養して受精を促す)と顕微授精(顕微鏡下で卵子に精子を注入)を行う。約 18 時間後に受精確認(卵子内に精子と卵子由来の 2 つの前核を確認)し、別の培養液を入れたシャーレに移して胚を育てる。他に精子や胚の凍結保存および融解や孵化補助などの処置も行う。この資格はエンブリオロジストの特殊技術と知識を修得した者のための認定資格制度である。
主催学会	日本臨床エンブリオロジスト学会
ホームページ	<a href="http://embryologist.jp/">http://embryologist.jp/</a>
学会費	年会費 5,000 円
受験資格	1) 本学会の会員であること。 2) 実際に生殖補助医療技術の職務に従事し、本会が実施するワークショップ (本会が認める学会ワークショップも含む)に2 回以上参加し、本会指定の修了証の交付を受けなければならない。
試験項目	1、発生・解剖学 2、ラボ技術・管理 3、凍結保存 4、日産婦会告および法規、倫理など
受験様式	筆記試験 面接試験
受験料	認定登録料 10,000 円
資格更新制度	資格更新は3 年毎である。 当学会員でありかつ会費を納入している者。
書籍案内	エンブリオロジストのための ART 必須ラボマニュアル (日本臨床エンブリオロジスト研究会編、医歯薬出版株式会社)

## 16. 第 1 種 ME 技術実力検定試験

定義	ME 機器，システム，関連施設の保守・安全管理の専門知識を有し，他の医療関係者の教育・指導ができる。
主催学会	日本生体医工学会/ME 技術教育委員会内 ME 技術実力検定試験事務局
ホームページ	<a href="http://megijutu.jp">http://megijutu.jp</a>
学会費	入会金：1,000 円/会費：年 11,000 円(正会員)、年 6,000 円(準会員)
受験資格	1.第 2 種 ME 技術実力検定試験合格者 2.臨床工学技士免許所有者
受験様式	筆記試験と選択式試験と小論文試験
試験範囲	医学の基礎，工学の基礎，ME の基礎，ME 機器の原理・構造 ME 機器の操作・運用，ME 機器の保守・点検，安全性・信頼性，病院設備について、専門的な知識を問う問題
受験料	初回受験者：20,000 円 再受験者(科目合格受験者を含む)：12,000 円
資格更新	無
合格率	27%前後
どんな資格?	ME 機器・システムおよび関連設備の保守・安全管理を中心に総合的に管理する専門的知識・技術を有し、かつ他の医療従事者に対し、ME 機器および関連設備に関する教育・指導ができる資格である。
関連学会	日本医科器械学会
書籍案内	平成 18 年度版講習会テキスト 第 1 種 ME 技術実力検定試験問題集解説集

## 17. 第2種 ME 技術実力検定試験

定義	ME 機器，システムの安全管理を中心とした医用生体工学に関する知識をもち、適切な指導のもとで、それを実際に医療に応用しうる資質を検定するもの
主催学会	日本生体医工学会/ME 技術教育委員会内 ME 技術実力検定試験事務局
ホームページ	<a href="http://megijutu.jp">http://megijutu.jp</a>
学会費	入会金：1,000 円/会費：年 11,000 円(正会員)、年 6,000 円(準会員)
受験資格	1.医師・看護師・臨床検査技師等の医療従事者 2.企業における開発・製造・販売・修理等の担当者 3.各種 ME 関連学校の学生
受験様式	多肢選択式試験と小論文試験
試験範囲	医学の基礎，工学の基礎，ME の基礎，ME 機器の原理・構造、ME 機器の操作・運用，ME 機器の保守・点検，安全性・信頼性，病院設備などについて問う
受験料	12,000 円
資格更新	無
合格率	34%前後
どんな資格?	ME 機器・システムの安全管理・病院設備・・・などに対する知識をもち、医療に応用することができる。
関連学会	日本医科器械学会
書籍案内	第2種 ME 技術実力検定試験問題集 06 年度版 発刊中



## 18. 臨床 ME 専門認定士

定義	ME 機器, システム, 関連施設の保守・安全管理の専門知識を有し, 他の医療関係者の教育・指導ができる。
主催学会	日本生体医工学会/臨床 ME 専門認定士合同認定委員会
ホームページ	<a href="http://megijutu.jp">http://megijutu.jp</a>
学会費	入会金: 1,000 円/会費: 年 11,000 円(正会員)、年 6,000 円(準会員)
認定資格	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第 1 種 ME 技術実力検定試験の合格書を取得した者</li> <li>2. 厚生大臣または厚生労働大臣の免許を受けた、医療関係職種免許(臨床工学技士、看護師、準看護師、臨床検査技師、診療放射線技師等)を有する者</li> <li>3. 医療機関(病院、診療所等)における 2 年以上の ME 機器・システムおよび、関連設備の保守点検・安全管理の実務経験を有する者</li> </ol> <p>*申請時にこれらすべての条件を満たしていなければなりません。</p>
資格更新	5 年毎
どんな資格?	ME 機器・システムおよび関連設備の保守・安全管理を中心に、それらを総合的に管理できる専門知識・技術を有し、臨床の場において、その技術や知識を発揮し、また他の医療従事者に対して教育・指導ができる資質を臨床 ME 専門認定士合同認定委員会から認定された者を指す
関連学会	日本医科器械学会

## 19. 医療情報技師

主催学会	日本医療情報会
ホームページ	<a href="http://www.jami.jp/">http://www.jami.jp/</a>
学会費	正会員：入会金 2,000 円、年会費 10,000 円 学会機関誌代 13,000 円（年額）
受験資格	特に問わない
受験様式	筆記試験 （医学・医療、情報処理技術、医療情報システムの3科目）
受験料	10,000 円
資格更新	5 年毎（学会参加・発表などにより 50 ポイント獲得すること）
書籍案内	医療情報 全 3 編 （医学・医療編、情報処理技術編、医療情報システム編）
	日本医療情報学会/医療情報技師育成会(編) 日本医療情報学会/篠原出版新社（発行）
医療情報技師とは？	保健医療福祉専門職の一員として、医療の特質をふまえ、最適な情報処理技術にもとづき、医療情報を安全かつ有効に活用・提供することができる知識・技術および資質を有する者。
具体的には・・・	日々の診療業務に関わる保健医療福祉情報システムの企画・開発および運用管理・保守を仕事とし、保健医療福祉の現場を知り、そこで活躍することができる情報処理技術者。
求められる能力	情報システムを扱う技術、医療情報を扱う知識と意思決定に至る思考能力、および医療情報を扱う資質を必要とする。

## 20. 第一種・第二種消化器内視鏡技師

定義	消化器内視鏡検査の補助
主催学会	日本消化器内視鏡学会
ホームページ	<a href="http://www.jges.net/">http://www.jges.net/</a>
学会費	12,000 円
受験資格	1)技術制度審議会の定めた国家認定の医療関連者法定免許を有する者（第一種資格対象者：看護師(助産師、保健婦含)、臨床検査技師、診療放射線技師、薬剤師、臨床工学技師） 学会支部長の承認する内視鏡機器取り扱い講習会およびセミナーの受領証明書（写） 2)準看護婦・士の免許を有する者（第二種資格対象者）
受験様式	筆記および口頭試験
受験料	3,000 円
書籍案内	医学図書出版 技師試験問題解説 1、2、3

## 21. 染色体分析技術認定士

主催学会	日本染色体遺伝子学会
ホームページ	<a href="http://www.jacqa.jp/">http://www.jacqa.jp/</a>
受験資格	日本染色体遺伝子学会会員
受験様式	筆記試験 実技試験（核型分析）
資格更新制度	無
この資格について	正確な知識、技術の習得が必要である染色体及び遺伝子検査において、染色体分析技術者として取得しておかねばならない知識、技術を習得していることを証明する資格である。

## 22. 磁気共鳴 (MR)専門技術者

目的	最新の医療技術に対応した最善の画像情報を標準的に提供し、安全を担保することで国民の福祉と社会の発展に寄与する。
主催学会	日本磁気共鳴専門技術者認定機構
ホームページ	<a href="http://www.jsmrm.jp/MRSpEng/index.html">http://www.jsmrm.jp/MRSpEng/index.html</a>
学会費	—
受験資格	<p>1)いずれかの構成団体への在籍期間が2年以上の者：日本放射線技術学会、日本放射線技師会、日本臨床衛生検査技師会、日本磁気共鳴医学会、日本医学放射線学会、放射線専門医会、日本医用画像システム工業会</p> <p>2) MR 操作経験：経験年数については不問。</p> <p>3) 学術成果：MR に関する学術研究発表を3回以上、もしくは日本学術会議に登録された学会または世界的に認められた関連学術団体への投稿論文1編以上を有すること。</p> <p>4) 装置の精度管理：機構が提示した装置の精度管理に関する性能評価を行った測定データを添付すること。</p> <p>5) 施設の安全管理：被験者ならびにスタッフのために施設が備えている安全管理マニュアルを添付すること。</p> <p>6) 安全管理講習会：認定試験を受けようとする者は、本機構が主催する安全管理講習会を受講しなければならない。</p>
受験様式	受験資格審査（書類審査） 筆記試験
受験料	書籍審査申請料3,000円 安全管理講習会受講料および認定試験受験料7,000円 登録料10,000円
書籍案内	<p>1)MR 撮像技術学（上） オーム社</p> <p>2)NMR 医学 核磁気共鳴医学会編</p> <p>3)臨床放射線技術実験ハンドブック 日本放射線技術学会編</p>

## 23. 平衡機能検査技術講習会

主催学会	日本めまい平衡医学会
ホームページ	<a href="http://www.memai.jp/">http://www.memai.jp/</a>
参加費	60000 円（講習会費、テキスト代、懇親会費など）
参加資格	臨床検査技師または看護師などの資格を有し、所属長の推薦を受けた者
目的	平衡機能検査に関する基本的な知識と検査技術の習得を目的とする。
試験様式	5 日間の講習会終了後、1 時間の試験が行われ、8 割以上正解で合格となる。 試験に合格すると、「受講証明書」が発行される。
活躍場所	耳鼻科領域の専門検査を必要とする施設では活躍が期待される 「聴力測定技術講習会」と共に受講する技師も多い。

## 24. 聴力測定技術講習会

主催学会	日本聴覚医学会
ホームページ	<a href="http://www.audiology-japan.jp/index.html">http://www.audiology-japan.jp/index.html</a>
参加費	55000 円（一般コース）
参加資格	現在医科医療機関で業務に従事しているか、または従事予定の人で医療業務の免許を有する方に限る。（一般コース）
参加費	35000 円（中級コース）
参加資格	日本聴覚医学会聴力測定技術講習会受講経験のある方で、現在医科医療機関で業務に従事している方に限る。
受講内容	鈍音聴力検査、マスキング、語音聴力検査、他覚的聴検、インピーダンスオージオメトリー、幼児聴検、補聴器などについてより高いレベルの内容の研修を行う。
活躍場所	耳鼻科領域の専門検査を必要とする施設では活躍が期待される「平衡機能測定技術講習会」と共に受講する技師も多い。

## 25. ICD(infection control doctor : 感染制御ドクター)

主催学会	ICD 制度協議会
目的	質の高いICDを養成・認定し、そのレベルを保証する
ホームページ	<a href="http://www.icd.umin.jp/">http://www.icd.umin.jp/</a>
学会費	
認定条件	<p>次の3条件を満たす場合に、応募可能となる</p> <p>1)協議会に加盟しているいずれかの学会の会員であること (会員歴の長さは不問)</p> <p>2)医師歴が5年以上の医師又は博士号を取得後5年以上でのPhD(感染症関連分野の医師)で、病院感染対策に関わる活動実績(感染対策委員歴、講習会出席、論文発表)があり、所属施設長の推薦があること 対策に関わる活動実績(感染対策委員歴、講習会出席、論文発表)があり、所属施設長の推薦があること</p> <p>3)所属学会からの推薦があること</p>
認定料	20,000 円
資格更新	5 年毎
役割	<p>病院感染を防止するための役割を果たす</p> <p>a)病院感染の実態調査(サーベイランス)</p> <p>b)病院感染対策の立案と実施</p> <p>c)対策の評価及び対策の見直し</p> <p>d)職員の教育・啓発</p> <p>e)病院感染多発(アウトブレイク)時の対応</p> <p>f)伝染性感染症発症時の対応</p>
書籍案内	<p>「ICD テキスト プラクティカルな病院感染防御」:</p> <p>ICD 制度協議会監修 ICD テキスト編集委員会 編</p>
加盟学会	<p>日本感染症学会、日本環境感染学会、日本小児感染症学会、日本ウイルス学会、日本医真菌学会、日本寄生虫学会、日本化学療法学会、日本外科感染症学会、日本細菌学会、日本臨床寄生虫学会、日本臨床微生物学会、日本眼感染症学会、日本救急医学会、日本歯科薬物療法学会、日本集中治療学会、日本性感染症学会</p>



## 26. 血管診療技師

### CLINICAL VASCULAR TECHNOLOGIST ( CVT )

この資格について	今日、動脈硬化などの血管疾患が増加する中で、医療機器の進歩により血管を無侵襲に形態的・機能的な評価ができるようになり、血管疾患を効果的に正しく評価できるトレーニングを受けた血管診療技師が必要となった。これまでの血管診療をより上質なものにして健康長寿を目指す社会の貢献することが期待される資格である。
主催学会	日本血管外科学会、日本脈管学会、日本静脈学会
ホームページ	<a href="http://plaza.umin.ac.jp/~cvt/">http://plaza.umin.ac.jp/~cvt/</a>
受験資格	<p>1) 日本国における、臨床検査技師・看護師・臨床工学士・診療放射線技師・准看護師のいずれかの資格を有していること。</p> <p>2) 上記資格取得後、下記の実務経験を有していること。          臨床検査技師・看護師・臨床工学士・臨床放射線技師：3年以上          准看護師：5年以上</p> <p>3) 血管疾患を専門とする医師のもとで十分な血管疾患診療の経験があること。</p> <p>4) 認定講習会を受講したこと。</p>
試験項目 受験様式	<p>1) 血管疾患（リンパ管を含む）の病態全般に関する基礎知識</p> <p>2) 血管疾患診療に関する専門知識、を問う多肢選択問題（50題）とする。</p> <p>3) 血管疾患検査に関する実技技術</p> <p>当面3)に関しては提出書類による評価とするが、将来は実技試験を行う方向で検討する。</p>
受験料	10,000円      認定登録料10,000円
書籍案内	<p>多田祐輔監修 重松宏・松尾汎編集，          閉塞性動脈硬化症診療の実際，文光堂</p> <p>前田 肇監修，今脇節朗，岩井武尚，他編集，          静脈およびリンパ管疾患と外科，日本アクセル・シュプリング</p> <p>—</p>

血管無侵襲診断法研究会将来構想委員会編，  
血管無侵襲診断の実際，文光堂

松尾汎編，血管検査マニュアル，  
Vascular Lab 増刊 2005 Vol.2，メディカ  
出版

岩井武尚/平井正文/木村晃司/松原純一編集，  
血管疾患の無侵襲診断法，医歯薬出版株式会社